熱い心と癒しの心

ホッとハート

2018 秋号 Autumn

鹿児島徳洲会病院広報誌

健康医療 TOPICS！

温故知新　ＣＴ－ｓｃａｎの話

医師
脳神経外科
脳神経センター長
河野　輝昭

画像診断といえば特に脳に関しては今ではＭＲＩが一番と思っている人が多く、マスコミに限らず一般の外来患者さんも頭がおかしいので検査してくださいと外来を受診されるときにじゃあＣＴ検査をしてみましょうと説明をすると、今の時代ＭＲＩではないですかと言い張りＭＲＩ検査を受けるまでは帰らないという患者さんもいるほどです。

さて、ＣＴ－ｓｃａｎと言えば私が卒業した年にはまだ世界で一台も稼働していない時代でした。脳出血や、脳梗塞、脳腫瘍、先天奇形の診断は脳の血管撮影、あるいは脳室と言って水の溜まっている部屋に空気を入れる気脳写などの検査を駆使して行っていました。脳血管撮影も今のセルジンガー法などのない時代で頸動脈を金属の腰椎穿刺針で直接穿刺する方法で行われていました。あるとき意識障害の患者さんが運ばれてきて診断に脳血管撮影をすることになり局麻化に穿刺針でいざ頸動脈を穿刺しようとしたまさにその時パッと目を開いた患者が術者に向かって一言「なにやってんだ～」と言ったとか、酔っぱらって寝ていた患者を救急隊員が意識障害と判断し搬入した患者だったというのどかな時代でもありました。手術にまつわる話でも、脳腫瘍の術後など患者さんの状態が悪化すると診断はほとんどが脳浮腫と判断されていました。それが、ＣＴ導入後に解ったことですがほとんどが術後出血でした。脳浮腫と診断されれば脳ヘルニアの予防にと外減圧術と言って頭蓋骨を大きく切って取り外す手術が行われたのですが、これは脳出血であったらますます出血を助長することにつながり真反対の治療をしていたことになり大いに反省させられました。

ということで、昭和５１～５２年ごろにＣＴが日本に導入された時には皆びっくりしました。日本のＣＴ導入に当たっては有名な話があり、当時エリザベス女王が来日された折、日本の経団連会長であった土光会長と会談された際、イギリスは多くの日本製品を買っているが逆に日本がイギリスから買っているものが少ないのではないかという話になったそうです。土光会長がじゃあ日本も協力しましょうということになり何がありますかいう話になった時に提案があったのがＣＴ装置でした。当時自動車の自賠責保険が５００億ぐらいの余剰金を生んでいたことから、この金を当てようということになり、全国の約３０病院や施設に配布設置されました。当時のお金で一施設あるいは一病院に約３億円が寄贈され１．５億円のＣＴを購入し残りは脳外科に必要な診断研究機器の購入や若手脳外科医の育成に使われました。なお、脳外科に寄贈されたものでＣＴ装置は脳神経外科科長の管理物で稼働や修理など何かあればすべて科長すなわち教授の判を必要としました。

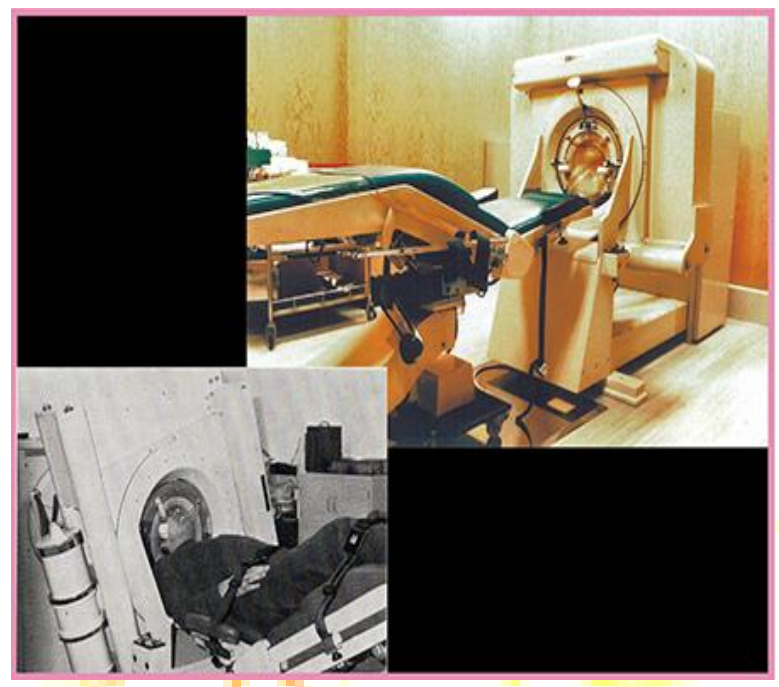
ＣＴの製造会社は当時全盛期をふるったビートルズのレコード出版会社のＥＭＩ社で最初の機器はＥＭＩ－１０００と言いました。ＥＭＩ社は当時ビートルズのレコードの売り上げの大半をＣＴ装置の開発と研究に投入したそうですが、ＣＴ装置はビートルズの今正紀最大の遺産だといっても過言ではありません。すぐにＥＭＩ１０１０にバージョンアップされましたが一スライス１５分ぐらい撮影時間がかかり大変な目にあいました。研修医であった私はプロテクターをつけて患者さんの頭側から両手を伸ばして撮影が終わるまでしっかりと押さえるのが検査中の仕事でした。

ただ、日本に最初に導入されたのは東京女子医科大学脳神経外科でした。ちなみに、国内の最初の頭部ＣＴ検査の所見は診断のつかない意識障害のある患者さんで頭に１０個以上両側性にあちこちと転移した転移性脳腫瘍でした（写真参照）。

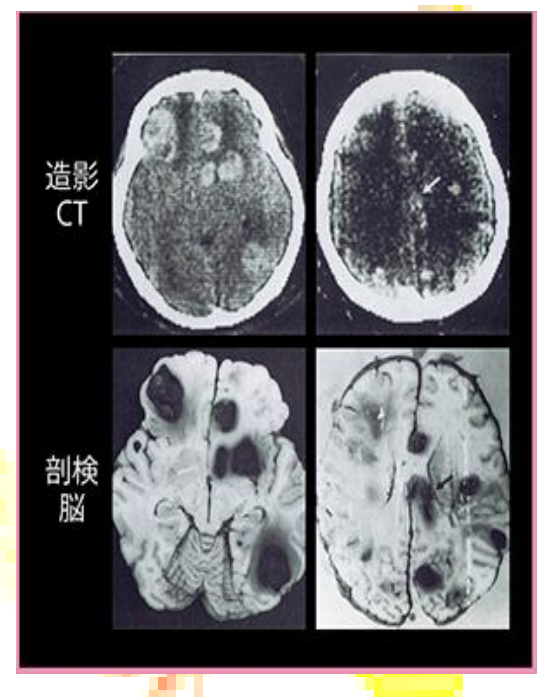
私は長崎大学を卒業しその後脳外科に入局しましたが、長崎大学の一例目の症例は脳室内の髄膜腫の患者さんでした。

コンピューター技術の革新的な進歩に支えられ、当時では考えられないような詳細な画像が得られ、また、立体画像の撮影などに内科外科を問わず診断治療になくてはならない検査機器になっています。その社会的貢献度の大きさはＭＲＩにたいしてではなく、ＣＴの原理の発明者であるハンスフィールドがノーベル賞をもらっていることからも伺えます。

まだまだ、昔話は尽きませんがＣＴ値の話などまたの機会に譲り今回はこのあたりで終わりにします。



本邦最初に導入されたＣＴ壱号機東京女子医大



最初の患者さんの画像と剖検脳

敬老会

9月10日（月）・11日（火）の午前に通所リハビリテーションにて敬老会を行いました。たんぽぽ保育園の園児によるお遊戯を披露して頂きました。

通所リハビリテーションのスタッフによる劇（水戸黄門）を楽しみにされ笑いもありご利用者様も喜んでいただけたようです。

敬老のお祝いには7名のご利用者様へ賞状と景品を贈呈しました。
参加されたご利用者様の皆様にも景品を贈呈しました。

お遊戯・劇・お祝いに皆様とても楽しんでいただけたご様子で来年も良い敬老会にしていきたいと思います。

通所リハビリ　介護福祉士　北迫　雄介

病棟に流れるチンドン屋さんのメロディー

病棟に流れるチンドン屋さんのメロディー、回復期リハビリ病棟の患者さんたちに笑みが広がりました。

8月29日鹿児島徳洲会病院にチンドン屋さんの慰問がありました。放射線科の新野先生の計らいで、宮田わかなさんが病院を訪ねてくださいました。年配の方が来られるのかと思っていたら、とてもきれいなチンドン屋さんで患者さんもスタッフも大喜びです。昔懐かしいメロディーに手拍子や鼻歌が出てきてみんな笑顔になりました。

5階回復期リハビリ病棟　看護部

ほっとスタッフ

5階回復期リハビリ病棟

看護師　弥永　紘典

　鹿児島徳洲会病院に就職してから二年目となりました。先輩に怒られたりしながらも、毎日色々なことを経験し学ばせてもらっています。また、看護師としての知識や技術だけでなく、社会人としても成長させてくれる今の環境がすごくありがたいと感じています。今、自分でやるべきことを一つずつクリアしていき、人間としの基盤をしっかりと作っていきたいと思います。
　プライベートでは来年の１月にある菜の花マラソンに参加します。高校の同級生と練習をしていますが、とにかくキツイです。正直走りたくないです。お金は払いましたが返して欲しいと思うときもあります。でも走るといったからにはやりきらないと男ではありません！とりあえず、今しかできないことをやってみたいと思いエントリーを決めました。参加したからには気合を入れて完走させます。
　一度しかない人生です。今やるべきこと・今しか出来ないことを精一杯経験して、中身のある大人になりたいと思います。

　早いもので入職して１０年目になりました。入社式やオリエンテーションがついこの前のように感じます。自分は鹿児島徳洲会病院には学生時代の実習生の頃からお世話になっており、入職前から関わらせていただいています。２ヶ月間の実習期間では、先輩方にはセラピストとして必要な知識はもちろん、それ以上に大切なことを教わったと記憶しています。
　現在は後輩も増え中堅の立場となり、責任や先輩としての自覚も意識できるようになってきました。
　プライベートでは結婚し、子どもが生まれ、夢のマイホームを手にいれることができました。仕事とプライベートの両立、大変なことも多いですが、患者様からの感謝の言葉、大切な家族の存在、これからも大切にしていきたいと思います。
　一度しか無い人生です。作業療法士以外の職に就いていたらどんな人生を送っているかなど考えることもありますが、今を大切に最善を尽くし日々過ごしていきたいと思います。将来のことを色々考えながら後悔のない人生にしたいです。

リハビリ部

作業療法士　坂野　俊祐

発行日／平成二十年十月二十日
発行人／池田佳広
発行／鹿児島市下荒田３－８－１
鹿児島徳洲会病院

栄養ＮＥＷＳ

10月は秋の真中の月。空はますます澄み渡り、夜空の月も冴え渡ります。朝晩の冷気も増してくるので、体を冷やさず喉を痛めないように注意しましょう。胃腸を温める根菜類や、皮膚を潤す魚介類を賢く取り、秋の冷気に負けない体力をつけましょう。

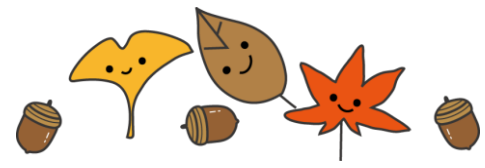
旬の食材

野菜/白菜、大根、人参、じゃがいも、里いも、さつまいも、落花生、きのこ

果物/リンゴ、柿、くり、梨、ぶどう、いちじく

魚介/サワラ、サバ、イワシ、サンマ、ハゼ、アマダイ、イカ、サケ

良質な脂質を持つ魚が豊富に出回り、
胃腸を温める根菜類や抗酸化力の高い
果物もたくさん登場する嬉しい季節です。



10月旬食材の簡単レシピ
さんまのゆず風味焼き浸し

材料（二人分）
- **さんま2尾**
- **漬け汁 ： 醤油大さじ2・みりん大さじ1**
  水大さじ3 ・ ゆず皮千切り適量

①さんまは頭を落として、内臓を除き、食べやすい大きさにぶつ切りにし、水分をよく拭く。
②漬け汁の材料を全て混ぜ合わせる。
③さんまをこんがりと焼き、熱々のうちに漬け込む。

鹿児島徳洲会病院への交通アクセス

職員募集のお知らせ

徳洲会病院では下記の職種の方を募集中です

「看護師」
「看護補助者」
「薬剤師」
「保育士」
「調理師・調理員」

詳しくは当院のホームページをご参照ください

採用情報